

# 教育かしま

地域の特色ある教育活動を応援し、開かれた教育環境を推進するための情報を掲載していきます

第63号

電子版はこちらから

【発行日】  
令和7年9月1日  
【発行】  
鹿嶋市教育委員会  
【連絡先】  
鹿嶋市教育委員会 総務就学課  
TEL0299-82-2911 (内線521)

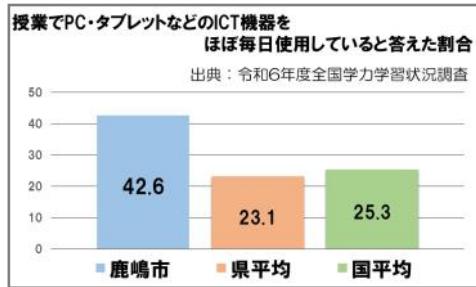


## 子どもたちの未来を拓くツール

鹿嶋市の教育における2つの新たな取り組み、「子どもたちの学びを広げるスクールAI」と、「推進校で先行実施しているAIを活用した英語教育」についてお伝えします。

### そもそも「スクールAI」とは？

鹿嶋市立小、中学校における授業でのICT機器活用率は国の平均を大きく上回っており、さらに子どもたちのICTスキルも比較的高水準です。



この高い能力をさらに伸ばし、一人ひとりの最適な学びを深めるため、今年度から教育用生成AIアプリ「スクールAI」の本格運用を始めました。スクールAIは、文章やプログラムの作成、多言語翻訳など、様々



な用途に活用できるAIツールです。市販の生成AIと違い、個人情報を学習しない安全設計で、不適切な質問には答えません。この安全な環境のもと、子どもたちは多様なプロンプト（AIへの指示）を使って、効果的に学習を進めることができます。

### なぜ鹿嶋市で「スクールAI」を導入したのか？

この先進的なツールを導入した背景には、子どもたちのさらなる「主体的・対話的で深い学び」の実現があります。教師はスクールAIを活用することで、より効率的に、一人ひとりの習熟度や興味に応じたきめ細かな指導が可能となります。また、子どもたち自身もこのツールを使いこなす中で、自ら課題を設定し、解決策を探求する力が育まれています。

実際に利用する子どもたちからは「AIは便利だけど、使い方は気をつけなければならない」「最終的に

考えるのは自分だ」といった、ツールを主体的に使いこなそうとする声が聞かれています。

鹿嶋市は、これからもスクールAIを最大限に活用し、子どもたちが自分のペースで深く探究できる、質の高い教育環境を創造していきます。

### 推進校の取り組み：AIを活用した英語教育で「書く力」を強化

鹿嶋市は、平成19年から小学校1年生からの英語教育とALT配置を通じて、グローバル人材育成に力を注ぎました。その結果、令和6年度には中学3年生の55.4%が英検3級相当以上の英語力を習得しています。

この英語教育をさらに発展させるため、県指定を受けた平井中学校では、今年度から「AIを活用した英語教育推進事業」を開始しました。この事業は、生成AIの力を借りて、生徒たちの「書く力」を伸ばし、英語学習への意欲を高めることを目的としています。教師はAIを生徒の学習パートナーと位置づけ、授業中に英作文作成の練習をサポートしたり、より良い表現を生徒がAIと探求したりできるよう導きます。これにより、授業や家庭学習でAIを効果的に使いながら、実践的な英語力の定着を目指します。

鹿嶋市は、平井中学校での成果を全市的な展開につなげ、子どもたちがグローバル社会で自信をもって活躍できる確かな英語力と、豊かな国際感覚を育んでいくことを目指します。皆様のご理解とご協力をお願いします。



## 鹿嶋市小中一貫教育

### 中学校区ごとのグループ名(学園名)を決定!!

鹿嶋市では令和7年4月から市内全ての学校（高松地区は平成30年4月）で、小中一貫教育がスタートしました。

9年間の連続した学びの中で「確かな学力」と「豊かな人間性」を育むことを目的に、各学校で様々な取り組みを推進していきます。推進にあたって、より中学校区単位での一体感を生むために、各校区のグループ名をつけることしました。

グループ名については、児童生徒や保護者などへのアンケートの実施後、各中学校区単位で選考し、教育委員会での調整を経て、この度決定しました。

グループ名は「〇〇学園」となります。正式名称ではありませんが、今後「鹿嶋市立〇〇学園〇〇小(中)学校」という名称を通知文や行事などで使用していきます。

今後の「学園名」使用について、ご理解とご協力をお願いします。

学園名	該当校	選定理由など
鹿島秀群学園	波野小／豊郷小 三笠小／鹿島中	鹿島中校歌にある「秀群（ほむら）」を使用。 秀群とは、すぐれた生徒の集まりを意味している。
高松学園	高松小／高松中	現在の中学校名を使用。
鹿野学園	豊津小／鹿島小 鹿野中	現在の中学校名を使用。
ひらい学園	平井小／鉢形小 平井中	現在の中学校名を使用し、ひらがなで表記。
大野学園	大同東小／大同西小 中野東小／中野西小／大野中	現在の中学校名を使用。

### 「こども誰でも通園制度」試行的事業が開始 ～利用者募集中！！～

鹿嶋市では、ご自宅で子育てをされている保護者の皆さまをサポートするため、「こども誰でも通園制度」を試行的に実施しています。この制度は、保護者の就労状況にかかわらず、保育園などに通っていないお子さんを一時的に預けることができる、新しい制度です。

#### ○どなんお子さんが使えるの？

鹿嶋市に住んでいる、0歳6か月から3歳未満の保育園などに通っていないお子さんが対象です。

#### ○月にどれくらい使える？

1か月に10時間まで、平日の午前9時～12時、午後1時～4時の間に、1時間単位で利用ができます。定員は午前午後ともに3人ずつです。

#### ○利用料金はどれくらい？

1時間300円です。

#### ○申込方法は？

インターネットで利用登録の申請をします。そのあと、保育園で面談をしてから予約ができるようになります。



#### ○利用者の声

- ・少し息抜きする時間がとれた。
- ・人見知りがはじまってきたので、家族以外の大人との関わりをもたせることができた。

「リフレッシュのため」「ちょっとした用事を済ませる」などの理由でもご利用いただけます。ご不明な点は、お気軽に幼児教育課までお問い合わせください。皆さまのご利用をお待ちしております。



詳しくはこちらからどうぞ▲

## 憧れの選手たちが学校に！

### 「鹿島アントラーズ×小学生」夢の交流！

6月24日、中野西小学校で鹿島アントラーズの学校訪問が行われ、鈴木優磨選手（FW・40番）と千田海人選手（DF・4番）が来校しました。

約1時間半の交流では、児童たちとじゃんけん列車や○×ゲーム、ボール回しなどを行い、元気な笑顔と歓声があふれていきました。

質問コーナーでは「ゴールを決めたときの気持ちは？」という質問に対し、千田選手は「ディフェンダーなのであまり点は取らないけど、取れたときは



▲笑顔で交流する千田選手（左）と鈴木選手（右）

一番うれしい瞬間です」、鈴木選手は「すべてが報われる気持ち」と二人とも笑顔で話していました。

全体の交流を通して、児童たちからは「かっこいい」「めっちゃうれしい」といった声が上がり、選手との交流を心から楽しんでいる様子でした。

今回の訪問は、クラブと地域・学校とのつながりを深める地域貢献活動の一環であり、鹿島アントラーズへの親しみや地域への愛着を育む大切な機会となりました。

※この記事は職場体験の鹿島高等学校附属中学校生徒4名（熱田、植田、佐々木、白倉）が作成しました。



▲最後にみんなで集合写真！

## 休日の「地域クラブ活動」が 展開されています！～参加者募集中～

令和7年9月から中学校の休日の部活動は原則として実施されません。そこで、鹿嶋市では、子どもたちが「生涯にわたってスポーツ・文化芸術活動を楽しむ環境を作る」ため、中学生の地域クラブ活動を推進します。地域クラブ活動とは、地域の方々の支えによって行われるスポーツや文化芸術の活動で、学校の部活動とは異なる活動です。

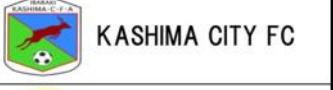
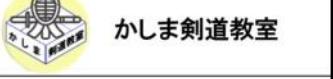
休日の新たな選択肢として、是非「地域クラブ活動」へご参加ください。詳しくは市ホームページをご覧ください。



### タイムスケジュール

時 期		令和7年8月まで	令和7年9月以降
学校 部活動	平日	今までどおりの部活動を実施	
	休日	学校部活動を実施してよいが、各部活動で地域クラブ活動への移行も検討する <small>※ただし、部活動として、休日に練習試合や大会参加は可能</small>	
地域 クラブ 活動	休日	準備ができた活動から地域クラブ活動を開始	

## 休日クラブ活動一覧

部	種目	受入先
運動部	ソフトテニス	
	卓球	かしまスポーツクラブ
	バドミントン	
	バスケットボール	
	軟式野球	
運動部	サッカー	 KASHIMA CITY FC
	剣道	 かしま剣道教室
文化部	バレーボール	鹿嶋クラブ
	柔道	・鹿嶋柔道スポーツ少年団 ・大野柔道スポーツ少年団 ・鹿嶋翔龍会スポーツ少年団
	吹奏楽	吹奏楽クラブ (鹿嶋市文化スポーツ振興事業団)
文化部	美術	文化芸術クラブ (鹿嶋市文化スポーツ振興事業団)

## 4人の選手が関東中学校体育大会に挑戦

茨城県中学校体育大会にて上位の成績を上げた4人の選手が、8月6日から各地で開催された、関東大会に茨城県代表として出場しました。

大会に先立ち、8月4日に開催された出場報告及び激励会では、選手から「今まで練習してきたことをすべて出し切れるように頑張りたい。」との抱負がありました。市長からは「今まで自分がやってきたことを信じて、力を出し切っていただきたい。体調万全にして、悔いのないように、自分の可能性に向かって、大会に臨んでほしい。」と激励の言葉がありました。

大会終了後、水泳に出場した大川さんから「今年も関東大会に出場し、『今年はいける！』という気持ちで、前日の練習にも取り組みましたが、本番はとても緊張してしまい、自分のいつもの動きができませんでした。本番に向けてどうコンディションを保つか難

しく感じました。いつもとは違う場所、環境でもいつもの自分をうまく出せる準備が必要だなと思いました。」と、次の目標に向けた熱いメッセージが届きました。



▲田口市長とガツツポーズ(前列左から谷口さん、大川漱輔さん、市長、大川亜子さん、川村教育長)

水泳 (習志野市・千葉県国際総合水泳場)		相撲 (桐生市・桐生市相撲道場)	柔道 (日立市・池の川さくらアリーナ)
100m200m背泳ぎ	400m1500m自由形	江橋零音 (1年生)	73kg級 (個人・団体)
大川亜子 (2年生)	谷口陽俊 (3年生)		大川漱輔 (2年生)
大野中	鹿島中		



鹿島神宮に祀（まつ）られている要石（かなめいし）には、「地震を起すとされる鯰（なます）の頭を鹿島大明神が要石で抑え込んでいる」という伝承があります。

この要石の伝承を背景に、安政二年（一八五五）の安政大地震直後から、江戸では、地震に関する情報とともに、地震の苦難を洒落（しゃれ）めかしたり、地震後の世相を風刺したりする印刷物「鯰絵」が大流行し、二百種類以上が出版されました。

鯰絵には、滑稽味（こつけいみ）のある文章が添えられているのも特徴です。

鯰絵の文章は、現代では使われていない「くずし字」で書かれています。

右の鯰絵では、地震鯰が頭に要石を打ち付けられ、「命ばかりをお助けくだされ」と懇願しています。

鹿島市教育委員会では本年度よりかしま古文書講座」を開講し、講義内容をまとめた動画版も随時公開しています。動画でくずし字を学んで地震鯰のセリフの続きを読んでみませんか？



▲鯰絵  
「地震鯰の取り調べ」(部分)  
(鹿島市中央図書館所蔵)

鹿島の文化財 第十五回  
なます絵